

【高等学校の部】優秀賞

伝統を次世代へ

別府溝部学園高等学校 2年
平井 ゆい

この町で育って良かった。私は、大人になっても、自慢できるような町を創りたい。

私が住んでいる日出町には、たくさんの魅力が散りばめられている。中でも、私が未来へと受け継いでいきたいものは大きく分けて2つある。ひとつめは、日出城址や的の山荘、致道館などの、歴史的建造物である。日出城址周辺には、今もなお住時を偲ばせる史跡が数多く残る。的の山荘は、皇族や多くの著名人が訪れる、日出町のみならず大分県を代表する史跡である。致道館は、県内で唯一現存している藩校である。他にも、日本を代表する音楽家である瀧廉太郎を輩出した瀧家の菩提寺や、豊後の三賢人の1人、帆足万里が眠る丘など、歴史を感じることの出来る史跡が多くある。

ふたつめは、魚見桜や大サザンカなどの自然である。魚見桜は別府湾で漁をする人々が、この桜の咲き具合を見て海の水温を推測し、魚の取り方や網の下ろし方を変えたことから魚見桜と呼ばれ親しまれている。樹齢400年を超えるヤマザクラの巨樹で、周囲にさきがけて彼岸に咲き誇る姿は、とても美しいものである。大サザンカは、日出町の町花・町木に指定されており、樹齢400年以上で、大分県天然記念物にも指定されている。実際に見ても、とても大きく、花が咲いている時期は本当に綺麗である。他にも、経塚山に咲くミヤマキリシマや、町の北方にそびえる鹿鳴越連山に降り注いだ雨水が良質な湧水となって、水汲みができる山田湧水や観音の水がある。

こんなにたくさんの魅力が詰まった日出町を、多くの人に知ってもらい、受け継いでいくべきだと思う。なぜなら、自分の住んでいる地域の歴史を学んだり、その地域の自然に触れたりすることが大事だと思うからだ。

未来の日出町のために私たちができることは、歴史を知ることや実際に見てみることだと思う。私は小学生の時に、県外から来た別の学校の人達と一緒に、日出町を観光するイベントに参加した。私は1日でたくさんの歴史的建造物を見てまわったのは初めてだったので、理解が追いつかないことが多かったが、今でもはっきりと覚えているくらい、とても楽しく有意義な経験だった。何よりも覚えているのは、景色がとても良かったということである。致道館の窓から眺めた別府湾も、鬼門櫓から見た日出城址も、普段見られないような光景を見てしまったときのような感覚でとても不思議で素敵だった。

私はこの経験を、友達に話したり家族にも話したりした。学校で学べることよりも、自分の住んでいる地域で何があったのかをたくさん知ることができて、とても良い機会になった。このような活動をもっと増やして、子どもたちに興味を持ってもらい、そこから多くの人に伝えていけば、もっと日出町の魅力を未来へと残していけると思う。自分自身も、まだまだ日出町のことを知りたいと思っているので、これからも私はさらに深く学んでいきたいと思っている。